

# 令和2年度 砂川市地域おこし協力隊活動報告書

コロナ禍における畑と人を繋ぐアプローチ

高橋 里佳





# 1. 私について

高橋 里佳・旧姓 新保

◎平成5年8月14日生まれ

◎平成28年 酪農学園大学 卒業  
大学卒業後は、恵庭市の研究所にて  
電子顕微鏡技師の補助を行っており  
ました。

その後令和2年8月に砂川市へ移住。  
ブドウを育て、ワイナリーを造るた  
めです。



# 砂川市で育てられているブドウ① ソーヴィニヨン・ブラン

◎白ワイン用・白ブドウ

さわやかな酸味と、少し青みがかった香りが特徴です。

◎砂川市の作付面積は約1ha。

◎今年で5年目です。

◎灰色カビ病に冒されやすい品種のため、こまめな防除が必須となります。





## 砂川市で育てられているブドウ② ピノ・ノワール

- ◎赤ワイン用・黒ブドウ  
渋みと酸味の調和がとれた、一般的には穏やかな味のブドウです。
- ◎砂川市の作付面積は約0.5ha。
- ◎今年で2年目です。
- ◎病気に弱く、少しでも防除を怠るとべと病に罹患し、葉がやられてしまいます。





# 作業① 摘芯

2 mを超える高さまで成長したブドウ樹の先端・生長点を切除し、それ以上伸びないように生長を止める作業です。

8月から9月にかけて行いました。

これにより本来枝に行くはずだった栄養が果実に行くようになり、より**おいしいブドウができる**ということでした。





## 作業② 農薬散布

ピノ・ノワール（赤ワイン用黒ブドウ品種）の幼木に農薬を手撒きにて散布しました。

背負いでも **20kg** ありますので、炎天下のなか重くて大変だった思い出です。

手撒きのため散布する量の調整が難しく、農場長より指導を受けたシーンもありました。



# 作業③ デジタルコンテンツ作成

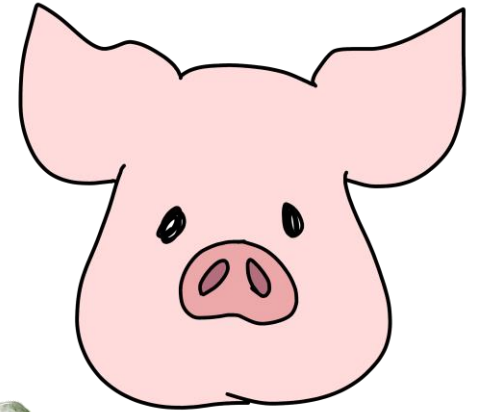
研修先のHPやロゴ等をデザイン、作成しました。

[ホーム | GraceduRanch-東豊沼高橋農場](http://www.graceduranch.com)  
[wixsite.com](http://wixsite.com)

なかなか良い写真が撮れず苦労しましたが、多くの方々にご覧いただいております。

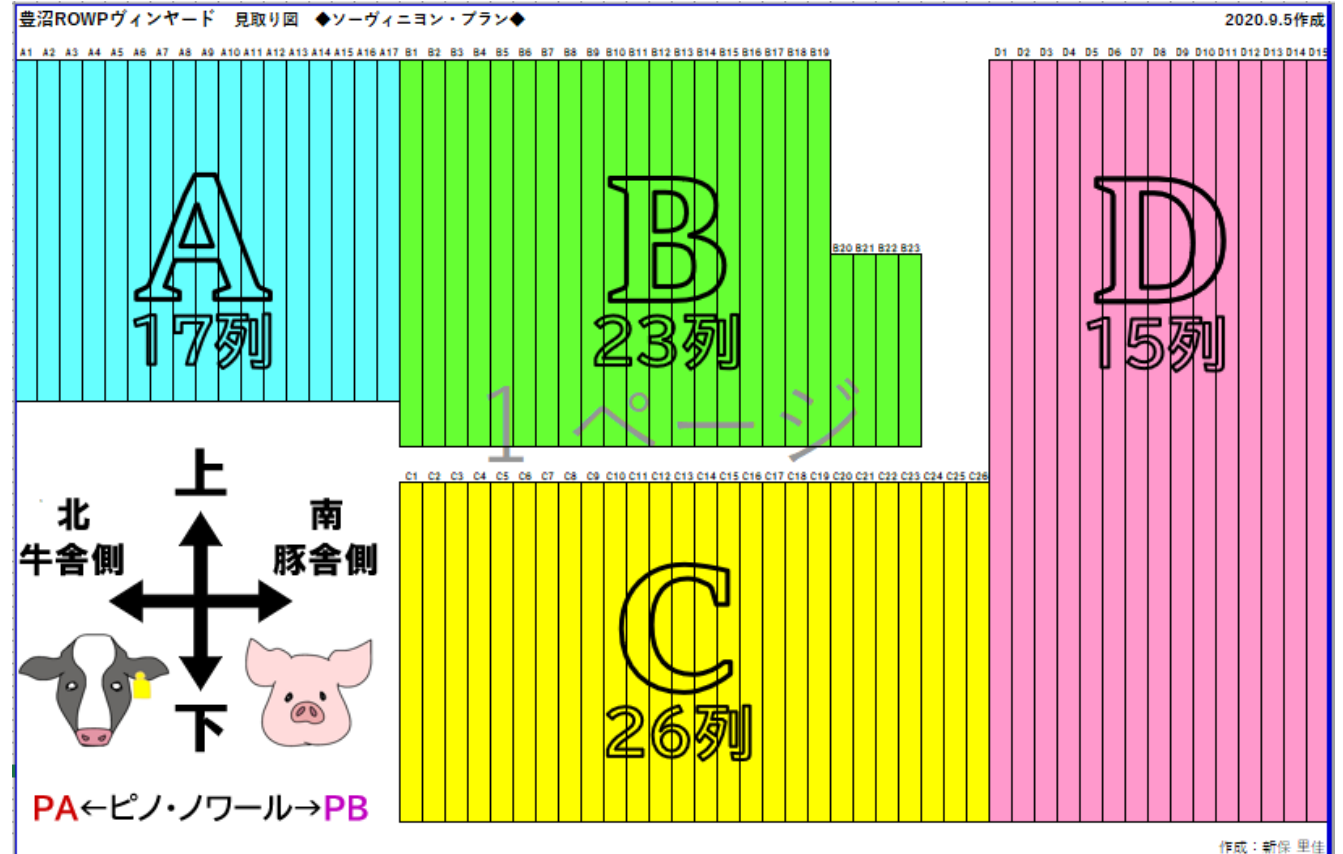
またインスタグラムを開設し、日々の作業を世界中に発信しております。

こうした取り組みにより、農場へご来場頂いた方や、ワインをご予約頂いた方が増加しました。





# 作業④ ナンバリング及び地図作成



作業効率向上のために木の杭へのナンバリング及び畑の地図を作成しました。



## 作業⑤ 摘粒

病気になって腐敗してしまった実を摘むことを摘粒、房ごと除去することを摘房と表します。

2020年は収穫前期に雨が多かったため、病気になってしまった果実も多く、憂鬱な作業でした。

2021年はこの経験を糧に、新しい防除機の導入や、綺麗な枝立てを行うことにより予防したい考えです。

茶色の粒が病気に冒されているもの→



# 作業⑥ 収穫祭準備

コロナ禍においても都市と畑を繋ぐためにはどのような方法を取れば良いか考え、収穫祭の開催を企画しました。

消毒液や手洗い所などを設置し、作業・休憩中は適切な距離を保つこと、マスクの着用をお願いすること等、徹底した感染予防策を実行しました。

作成したチラシ→



## 2020年 ブドウ収穫体験会

年に一度の奇跡的な体験——。  
一緒にワインを造りませんか？

ワイン用ブドウの収穫を下記日程にて行います。  
○10月17日(土) 各日20名程  
○10月18日(日)  
開催 7時～17時頃まで (お昼 12時-13時)  
参加できる時間にお越しください。  
※全体説明 各日8時と13時  
！ブドウの状態により日程を前倒しする可能性があります。その際にはご連絡申し上げますので、何卒ご容赦願います。

**\*参加者様特典\***  
①お昼のお弁当付き ②ワイン優先ご購入権  
③ワイン用ブドウ 2房  
市場には出ない貴重なソーヴィニヨン・ブランを2房お持ち帰りいただけます。

☆さらに1日通してご参加頂いた方には  
新米(5kg)を差し上げます！

◎お持ち物  
1.お飲み物 2.汚れても良い服装 3.長靴  
4.軍手 5.帽子 6.防寒着  
※雨天の場合日程を変更致します。  
※感染症予防の観点から、マスクのご着用をお願いしております。

◎お電話でのお問い合わせ  
代表・高橋 祥二  
☎ 090-3898-5208  
◎メールでのお問い合わせ  
補佐・新保 里佳(砂川市地域おこし協力隊員)  
grapestar999@gmail.com

受付締切  
**2020年10月15日(木)**

ROWP豊沼ヴィンヤード  
〒073-0126  
北海道砂川市東豊沼 352  
<https://takahashi-sh.wixsite.com/r-t-vineyard>





## 作業⑦ 収穫祭

モ～、困っちゃう。



収穫祭では非常に多くの経験と反省点を得ました。

会社員として誰かの指示で動くのではなく、運営として先導しなければならなかったため、指示しなければならない立場への切り替えが上手くいかず、初日は多くの方々の助けを借りなければなりませんでした。

大きな原因としては、**必要物資の配置場所**が把握できていなかったり、**前日までの準備不足**が背景としてありました。

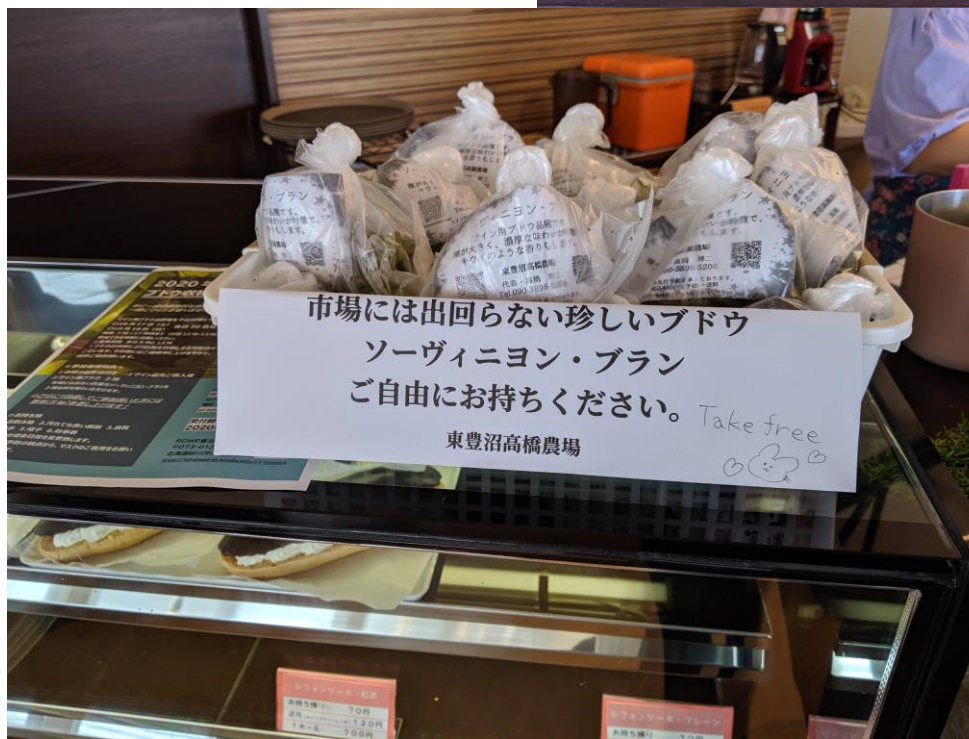
2日目は周囲の人からの助言もあり、比較的スムーズに作業ができました。

# ☆収穫祭のおもいで☆



↑ 突如出現した野生のガチャ

畑へ誘導する看板を  
作成しました →



←Caféえびすさんに  
ブドウを置かせてい  
ただきました

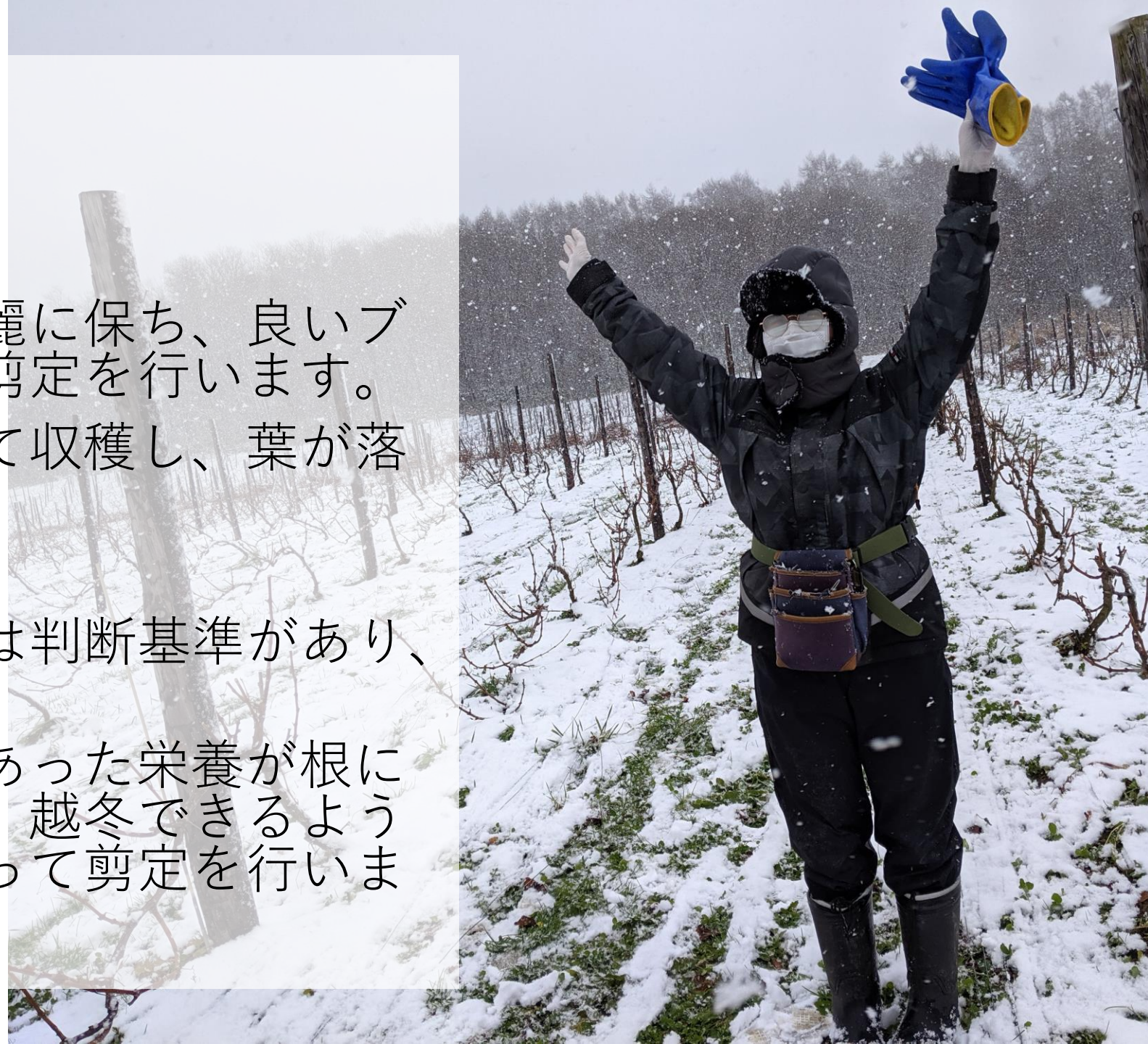


## 作業⑧ 剪定

次の年以降の樹形を綺麗に保ち、良いブドウ果実を造るために剪定を行います。剪定を行うのは実を全て収穫し、葉が落ちた11月頃です。

剪定しても大丈夫かには判断基準があり、枝の色を見ます。

**登熟**とって葉や枝にあった栄養が根に戻ると枝が茶色くなり、越冬できるようになるため、これを待って剪定を行います。





## 作業⑨ 春へ

1月から3月は雪のため畑へ入れないため、作業の振り返りや他ワイナリー、ヴィンヤードとの連絡会議、勉強会等に励んでおりました。

また砂川市のブランディング事業や、そのステップアップとして後述のライター業務に従事しました。

3月末は畑に融雪剤を撒き、雪解けを待ちました。





# 地域おこし事業～アップルパイのきじ～

町おこしの一環として、砂川の魅力についてご紹介する記事を作成しました。

砂川を代表するスイーツの一つ、アップルパイについて、安藤寛之氏にご指導頂きながら取材から記事執筆まで行いました。



[売り切れ続出！アップルパイ激戦区の三英傑とは | OASIS REPUBLIC -SUNAGAWA BASE- | note](#)

# 令和3年度の目標

- ◎各種勉強会等、過密スケジュールのため、体調管理に気を付けながらスキルの取得に努めます。
- ◎ブドウを用いた商品開発を企画しております。完成品まで漕ぎつきたい思いです。
- ◎ブドウ栽培に必要なとなる技術や機械類の操作方法を覚え、運営できるまでレベルアップを目指します。
- ◎砂川市のみならずオアシスリパブリック（共和国）の心をもって、町おこしに尽力致します。

**砂川市の皆さまへ、何卒宜しくお願い申し上げます。**